

武田 正樹議員 清流クラブ

防犯灯LED化事業の進捗状況は？

問

- (1) 本年度から取り組まれている防犯灯のLED照明導入の進捗状況は。
- (2) LED防犯灯による農作物への影響は。
- (3) 今後、LEDの維持管理はどうしていくのか。

来年2月末の完了予定で計画している

答 総務部長

- (1) 区長、区長補助員宛てに防犯灯LED化事業についての案内をしており、あわせて電気料の支払い状況の確認作業を実施しているところである。

この事業は、環境省の低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援基金事業の補助を受けて実施する計画で、6月11日に事業採択



されたので、7月に発注の手続きを行い、約3か月間の防犯灯の調査を行い、その後取り換え工事を実施して、来年2月末完了予定で計画をしている。


- (2) 終夜照明が点灯している状況では避けられないが、LED防犯灯は、従来の蛍光灯と比べ、後方への照射範囲が小さく、LED防犯灯に遮光板を取りつけることで農作物への影響が改善されると考えている。
- (3) 今回のLED防犯灯導入事業は、LEDの使用に一定の技術基準を設けており、屋外での長期使用に耐え得る構造としている。

なお、故障時は、早期対応していくので、市役所までお知らせいただきたい。

中央幹線道路・新政成弥富線の整備状況と今後の方針は？

問

- (1) 市の重要な幹線道路である①中央幹線道路【】と②新政成弥富線【】(六條工区)について、現在までの整備状況と今後の方針を尋ねる。

-  ①日の出橋から伊勢湾岸自動車道の側道までの市内を南北に結ぶ総延長約7キロメートルの都市内幹線道路。
- ②飛鳥村から本市に至る筏川北沿いを通る一般県道。

- (2) 今後の道路網の整備について、市長の考えは。

関係機関の支援を受けながら整備を図りたい

答 開発部長

- (1) 中央幹線道路の進捗状況は、26年度末で68%。

今後の方針は、まずは優先的に国道23号線から伊勢湾岸自動車道の側道までの区間約3キロを国の財政支援を受けながら継続的に順次整備を図っていききたい。

新政成弥富線(六條工区)

の整備状況は、事業施行者の愛知県海部建設事務所に確認したところ、26年度末までの進捗率は、用地取得面積ベースで87%。

今後の方針は、市の東西を結ぶ都市内幹線道路として、早期完了が図れるよう引き続き関係機関への整備促進を要望していききたい。

答 市長

- (2) 道路網の整備はまちづくりの基本中の基本である。

市としては、以下の3つのジャンルのもとに今後整備をしていきたい。

- ①狭隘道路(せうあい)の整備、②高齢者・子供など交通弱者を守っていくための車歩道分離型の道路の整備、③国・県の補助をいただきながら生活道路であると同時に経済的、災害的に極めて重要な路線の整備。

問

金魚養殖業の後継者不足対策を

- (1) 本市の特産品の一つで

ある金魚の養殖について、後継者不足が進み、厳しい状況にある。

金魚養殖業の現状と課題を把握しているか。

(2) 対策を考えているか。

金魚養殖業後継者育成対策協議会で研究を進めていく

答 開発部長

- (1) 26年11月30日現在で組合員数は103人、10年前が17人で68人減少している。

課題は、後継者が決まっていない生産者がほとんどであることである。

- (2) 後継者不足に対応するため、国からの地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金を活用して、金魚養殖業後継者育成事業準備委託料を予算化し、弥富市金魚養殖業後継者育成対策協議会を立ち上げた。

後継者育成への意向を確認しながら、金魚養殖業発展のための調査研究を進めていきたい。